

英国独立学派の講読セミナーPart2

英国独立学派の体系的理解

本セミナーのご案内

本セミナーのご案内：1940年代の英国において、学派・理論の相違に始まる現代フロイト学派とクライン派の間に起きた大論争は、独立学派（中間学派）を産み落とした。それは i) 党派性にとらわれないという、自由・独立を旨とした分析家の立ち位置とともに、ii) S. フロイトの時代に遡って S. フェレンツィ、M. バリント、E. ジョーンズらを出発点として幅広い精神分析理論を束ねる「学派」を形成して現代に至っている。初年度は独立学派の対象関係、創造性、早期の情緒発達、セクシュアリティ、技法論といったトピックに関連した主要論文を読んできたので、開講2年度の今年は E. Rayner による独立学派の各分析家の位置づけをまとめたテキストを中心に、関連する文献を参照しつつ体系的な理解を目指したい。各回文献を配布し、予め割り振った担当者がテキストのレジюмеを作成しそのプレゼンテーションと他の参加者のそれぞれの文献に関する質問を中心にセミナーリーダーが全体の理解をファシリテートする。

対 象： フロイト理論の系統講義（基礎講座、精神分析セミナー）・セミナーの受講経験が有る専門家

日 程： 2020年5月以降 原則第3日曜日、全10回（8月はお休み）
14時～16時30分

場 所： クリニックおくでら（小田急線小田原線 経堂駅 徒歩5分）

セミナーリーダー： 奥寺 崇

受 講 料： 40,000円

定 員： 10名

テ キ ス ト： The Independent Mind in British Psychoanalysis, Free Association Books, 1996

参 照 論 文・文 献： その都度次回分までを指定し配布する。

申 込 方 法： 申し込み用紙に必要事項を書いて、FAX または郵送してください。
受講の可否を葉書または、申込書に記載の Email アドレスにご連絡いたします。振込先をご確認の上、受講料をお振込みください。

〒160-0004 新宿区四谷3丁目4番 SCビル6階

小寺記念精神分析研究財団事務局 FAX：03-3350-9749

電子メールアドレス：kodera.kt@nifty.com

申 込 期 限： 2020年5月8日（金）

主催： 小寺記念精神分析研究財団

セミナー予定

第1回（5月17日）はじめに

情動、対象と人（いずれもレジュメは奥寺が用意）

第2回（6月21日）抽象化と象徴化

第3回（7月19日）創造性と夢について

第4回（9月20日）発達　－環境、リビドーと攻撃性

第5回（10月18日）発達　－自己と環境

第6回（11月15日）性格とその派生物

第7回（12月20日）精神分析療法のプロセス　－患者にとって

第8回（1月17日）精神分析療法のプロセス　－分析家の貢献

第9回（2月21日）精神分析療法のプロセス　－患者と分析家の対話

第10回（3月21日）カウチの彼岸　応用精神分析
まとめ

